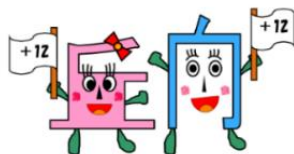


かけはし

川崎市立向丘小学校
学校便り10月号
R.6.9.30



創立140周年記念
キャラクター
(152バージョン)
むかちゃん おかちゃん

「みんなでつなげる」ができる向丘小

校長 大曾根 実

9月27日(金)3時間目に「川崎市100周年おめでとう集会」が開かれました。スローガンを「思いをつなげ100周年 これからもみんなで」と掲げ、川崎市や地域、学校などのこれまでの歴史や感謝の気持ちを伝え、未来につないでいきたいという思いを込めて集会が行われました。各学年が特別活動(学級会や係活動、集会、クラブ、委員会、実行委員会等)を中心とした、日頃の学習活動の積み重ねを活かし、川崎市の100周年をお祝いしました。

1年生は、「さんぼ」の替え歌で、向丘小学校の秘密を元気よく教えてくれました。大きな口を開けて大きな声で、「つなぐ」思いを伝えてくれました。2年生は、川崎市のブランドメッセージのロゴにもなっている赤、緑、青のポンポンを使いながら、向丘の学区にあるよさを紹介してくれました。3年生は、社会の学習で学んだ川崎市の秘密を紹介してくれました。学習をもとにした発表で、みんなが自信をもって発表していました。4年生は、総合的な学習で取り組んでいる「まつり」をきっかけに、全校を巻き込んで、「川崎踊り」で、お祝いムードを盛り上げました。この経験も今後の総合的な学習に生きてくるでしょう。5年生は、昨年の学芸大会や自然教室で踊ったダンスで、お祝いムードを盛り上げました。全員が生き生きとしている姿は、多くの人を幸せにしました。6年生は、スポーツのまち、読書のまち、映像のまち、音楽のまち、と、6年生らしく、目指す川崎の姿にふれて発表しました。「さすが6年生」と、みんなに憧れられる姿を見せてくれました。頼もしい限りです。代表児童の感想や、最後の振り返りも、一人一人が大切にされた素敵な時間でした。



集会全体を創り上げた6年生の実行委員も素晴らしかったです。事前の準備、当日の進行、盛り上がる時、聴くときのめりはりのある雰囲気を作り出す言動。さすがでした。それに続こうとしている、それぞれの学年の子どもたちの気持ちも伝わってきました。

学校運営協議会のメンバーの方、自治会長さんや、学校のボランティア、地域教育会議長、PTA役員、前校長の方々も、あられる感動を「来てよかった」と伝えてくださりました。

学校と、地域と、保護者が三位一体となり子どもを支える、向丘小学校の「大人の向小魂」を、ここでも感じる事ができました。多くの方の支えで、子どもたちは成長しています。